

福島県退職教職員協議会 会報 10月号

◇後期高齢者医療 配慮措置終了 2025年10月発行責任者 竹中柳一

2割自己負担者の「配慮措置」9月末で終了

後期高齢者医療制度が適用となる、75歳以上の皆さんに、この10月から医療費自己負担額が増加する恐れがあります。

2022年10月からの窓口負担割合の変更により、従来の自己負担1割から、所得に応じて、2割の枠が設けられました。家計への影響を考慮して、3年間の「配慮措置」が設けられましたが、

9月末で終了したためです。

◇「配慮措置」とは？

これまでの「配慮措置」とは、1割負担から2割負担に移行する対象者に対して、移行による差額を3000円までに抑えるというものでした。

(左上の例参照)

厚生労働省の資料によれば、同一医療機関での支払いでは、月の差額が3000円を超えると、1割負担分だけの支払いが適用されていました。また、そうでない場合では、月の負担増を3000円までに抑えるための差額を後日、高額療養費として登録口座に払い戻しすることになっていたようです。

◇2割負担の対象者は？

「配慮措置」が終了したことで、完全

に自己負担額が2割となるのは、次の2要件両方にあてはまる世帯収入がある方です

◆2割負担の対象となる方

- A 同じ世帯の被保険者の中に課税所得が28万円以上（年間）の方がいるとき
- B 同じ世帯の被保険者の「年金収入」と「その他の合計所得金額」の合計額が、
一人世帯：200万円以上
複数世帯：320万円以上

AとBの両方にあてはまる方が2割負担

会員の皆さんの状況を考えると、ご夫婦でそれぞれ年金を受給されている方は、かなりの確率で2割負担の対象者となりそうです。

本号より、県退教協の会報には、「福島県平和フォーラム」の新聞を同封いたします。ぜひご覧ください。

9月13日（土）に福島市「ホテルグリーンパレス」で「第31回福島県高齢者大集会」が開催されました。会議では福島県に対する要請事項が提案され、採択されました。同じく採択された、集会アピールを掲載させていただきます。

集 会 ア ピ ー ル

私達は、先輩方によって積み上げられた「健康で生き生きと安心して暮らせる社会の実現」をめざす第31回福島県高齢者大集会に本年も県内各地から結集しました。会場確保が難しい現状の中、本集会が多く数の団体・組織の一致協力と関係各位のご努力のもと、盛大に開催されたことを感謝すると共に喜び合いたいと思います。

ロシアによるウクライナへの侵略は4年目に入り、イスラエルによるガザ地区の無差別攻撃は、中東各国を巻き込んだ紛争に拡大しています。そしてこの国際紛争や内戦及び紛争の火種が世界各地で平和を脅かし、多くの民間人や子供たちの命を無残に奪い、難民問題をはじめ飢えや貧困に罪なき大衆が悲鳴を上げています。

石破自公政権は国民の思いに応えることもないまま裏金問題にふたをし、企業団体献金、選択的夫婦別姓、ガソリン税、人口減少・少子化問題をはじめとする政治課題をいたずらに先送りしています。私たちの生活はとどまることを知らない物価高騰の中で、年金生活者の悲鳴が高まり、子供を含めた貧困と格差の拡大を強めています。

この様な中で戦われた参院選、衆院選に続く与野党逆転が果たされ、福島地方区において石原候補の惜敗となってしまったものの連合候補のおおむね勝利を勝ち取りました。あらためてそれぞれのご努力に敬意と感謝を申し上げます。

多くの犠牲の上「二度と戦争はしないさせない」と誓い合ってから80年となりました。国際緊張があおられる中で世界的に防衛費の増大が叫ばれ、「自国利益中心主義」やトランプ関税、世界各国での排外主義の高まりや右派の台頭、民主主義が揺らいでいます。

参院選の結果について、与野党逆転という成果の一方で多くの高齢者がある種の違和感をもっています。SNS選挙は極端で短いフレーズがあっという間に民衆の支持を広げ、正しいかどうかの見極めもないままに、あたかもそれが民衆の意識であるかのような危険性を感じ取っています。

生活の困窮、政治不信、自国主義と外国人排斥、国際緊張の中でファシズムが生まれ、静かに民衆の心理がゆがめられながら世界大戦へと導いてしまった80数年前、戦争経験者や被爆者が少なくなるとともに薄れていく平和の尊さ、「新しい戦前」が絵空事とは思えません。

私たちはいまあらためて「高齢者が生きる意味」や「社会に果たすべき役割」を真剣に考えあっているかなければならないのではないのでしょうか。先人が守り紡いできた「平和の尊さ」をきちんと次世代につないでゆく大きな役割を確認しあいたいと思います。そしてこれらの運動が、家庭や地域において生き生きと過ごす日々の生きがいにつながるものと信じています。

この集会を通じ、私たち高齢者がこれらの運動の先頭に立って行動を起こしていくことを再確認いたしました。私達は、広く県民の信頼と共感を得ながら要求の前進を目指していくことを誓い合い集会アピールといたします。

2025年9月13日

第31回福島県高齢者大集会